

1 利用者数の推移 (p.2、p.3)

- ・ 2022年10月の運行開始以来、利用者数は引き続き増加傾向です。7月、8月は約3万3,000人(日あたり約1,060人)が利用しています
- ・ 路線別にみると、北部・大野線、中部・市役所線、南部・上野間線は横ばい傾向からやや減少でした。これは、夏休みで通学利用が減少したと考えられます。
- ・ 一方で、ボートレース周遊線は、7月、8月に利用者が大幅に増加しました。夏休みのお出かけ需要が増加したことが要因と考えられますが、9月以降の推移をみて判断します。

2 旧・北部バスとの比較 (p.4)

- ・ グルーンの北部エリアでは、利用者の増加傾向が頭打ちになり、1便あたりの利用者は北部バスの頃よりも減少したままです。
- ・ これ以上の需要がないのか、猛暑の影響で外出を控える人が多かったのか、今後の推移をみて要因を分析します。

1日あたりの利用者数(全路線合計)

(人)

1,600

1,400

1,200

1,000

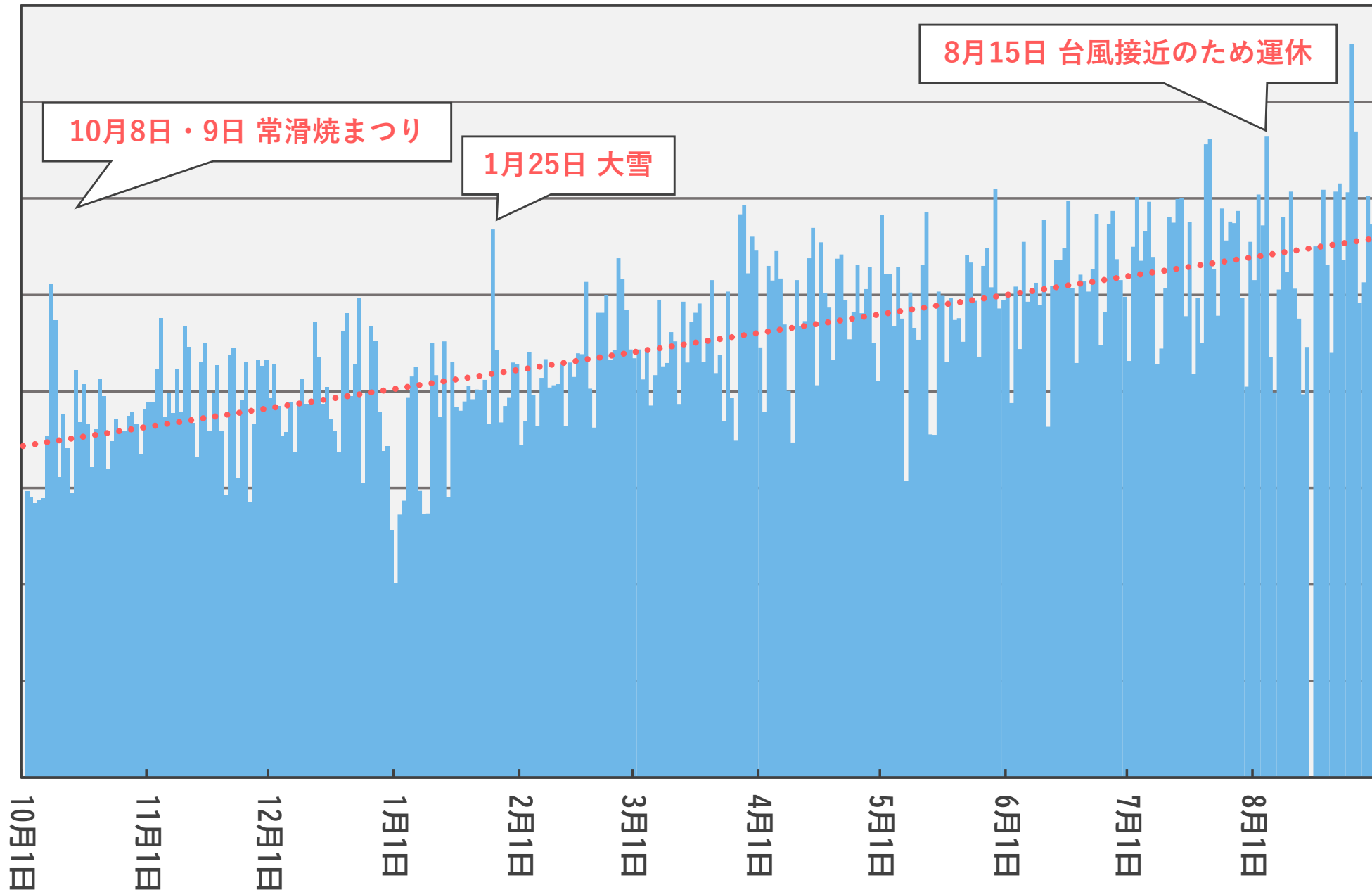
800

600

400

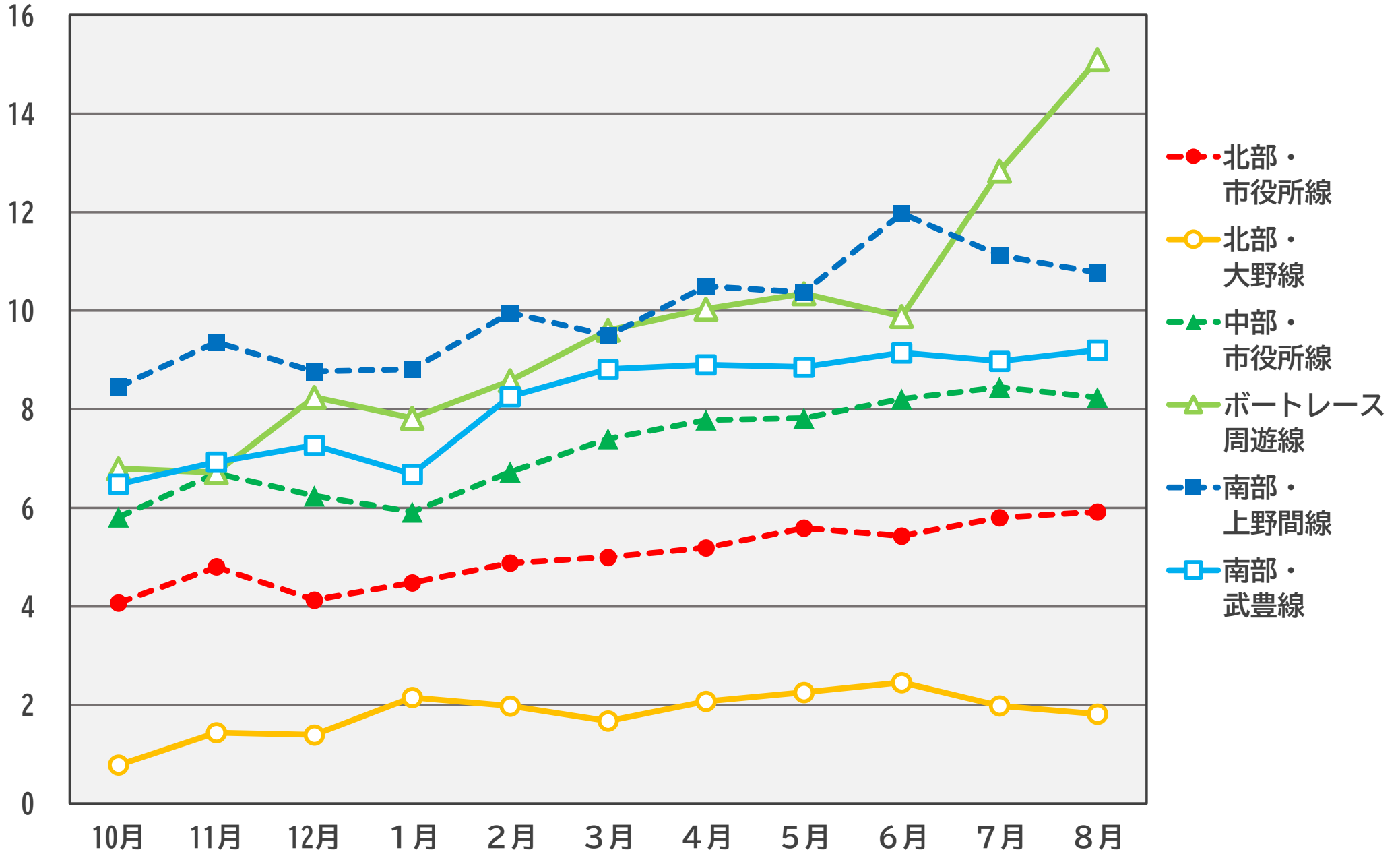
200

0



路線ごとの1便あたりの利用者数

(人/便)



旧・北部バスとコミュニティバス グルーンの比較

